



練馬城址公園
Nerima Castle Ruins Park News

パークニュース Vol. 04 令和8年1月発行

ワークショップ開催報告

令和7年度は、全3回のワークショップを開催し、過ごし方から考えたアイディアを取りまとめ、基本設計を策定していきます。

2回目のワークショップでは、前回の意見を参考にして検討した基本設計案について、参加者が内容を確認しながら、より具体的な過ごし方の意見を出し合い、公園の方向性を共有しました。

▶ 開催日時/令和7年11月16日(日) 13:30~15:50

▶ 開催場所/ホテルカデンツア東京

▶ 参加人数/16名

▼ワークショップの内容

検討案を説明したのち、アドバイザーの入江先生（東京農業大学教授）から前回の意見を踏まえた練馬城址公園ならではの過ごし方のヒントになる解説をしていただきました。

班ごとに検討案の内容を確認しながら、前回出された過ごし方を実現するためのより具体的な提案や留意点などを出し合い、班ごとに発表しました。



これまでの主な意見



東京農業大学 入江先生のご講演

前回は、「緑陰・木陰」や「みんなが楽しめる」といったキーワードがあがりました。例えば、ケヤキの緑陰下で音楽を楽しめる公園や、海外ではいろんな年齢の子どもたちが一緒に遊べる遊具もあり、みんなが楽しんで利用されている公園があります。石神井川沿いの練馬城址の地域は豊かな自然に恵まれた場所です。この歴史や環境を大切にし、工夫していくとどんな具体的な過ごし方ができるか考えましょう。

東京都東部公園緑地事務所
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/toubuk>
二次元コードからアクセス▶▶▶▶



全体での主な意見のまとめ

前回の意見 WS1 を反映した検討案の内容を確認し、より具体的な過ごし方についてのような意見が出されました。

公園全体に関する意見

WS1 この地ならではの歴史・自然・水辺の体験ができる機能がある

WS1 園内の樹木・自然を活かして遊ぶ

WS1 災害があっても園内で安心していられる

将来に備えて防災機能に対応する余白を残しておきたい

園内を眺めることができる
ビューポイントがあるといいね

地形の高低差を活かした
遊びがしたい
(斜面遊び場・水遊び場)

観察に役立つ
解説板があつたいいね

樹木を知ることができ
る名札があるといいね



エントランス広場での過ごし方

WS1 多目的な利用ができ、園内の利用を促進する賑わいの記憶を継承する

地域の子ども・住民が主役になるお祭り、地元団体などによる地域恒例の催しができる公園

「ウェルビーイング」をキーワードに
子どもからシニアまで健康づくりができる場に

アスレチックや散歩・ランニングで
楽しみながら体を動かしたい
木陰や休憩舎で快適に過ごしたい

石神井川・水辺での過ごし方

WS1 季節で違う楽しみ方がある水辺

石神井川での観察や
浅瀬で遊べる公園

草地広場・修景池での過ごし方

WS1 遊び・憩い・体験・学習など
多様な過ごし方ができる

修景池を眺めながら
休憩・ピクニック・読書がしたい

夏は水遊び、春秋は散策や観察、
冬はライトアップができたいいね

ボール遊びもしたい

花を巡る楽しさ

広場は災害時には避難場所に



園内の花や花壇での過ごし方

WS1 花を巡る楽しさ
園路を巡りながら、四季折々の花を眺めたい

花壇の形で公園の歴史を
感じることができたらいいね

次回(第3回)は、WS②を踏まえた基本設計案の確認を行うほか、計画地で取り組んでみたいこと
などのご意見をいただき、今後の公園整備の検討に活かしていきます。

連絡先/東京都東部公園緑地事務所 TEL.03-3821-6165 ▶事務局/株式会社総合設計研究所 TEL.050-1792-0910 ws@nerimajoshi.jp